

かたやま すすむ

片山 晋

活動内容	講演は単なる知識ではなく応用の効く考え方に重点を置き、そして容易に実践できる取り組み方法を紹介している。また、楽しく体験しながら学ぶオリジナル防災ゲームを各種作成して実践している。	
資格・経歴 活動歴等	防災への取り組みは約30年前から始まり「災害時の情報伝達」からスタートした。その後、各種防災ボランティアの要職を担い、自治会防災顧問も長く勤めている。防災冊子作成のほか、既存の防災ゲームに物足りなさを感じ、オリジナルゲーム「J-DAG、K-ZAG、防災めぐり」等を開発し展開している。	
活動の対象	<input type="checkbox"/> 未就学児 <input type="checkbox"/> 親子 <input type="checkbox"/> 小中学生 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> シニア	■ どなたでも
活動可能日	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日	■ 相談可

具体的なプログラムの一例

タイトル：目からうろこの地域防災

内容：地域から犠牲者を出さない取り組み

定員：特になし

所要時間：120分（講演または実習100分・質疑応答20分）

材料費：資料代100円以内



街のアドバイザーから

災害後に備えて「食料の備蓄」「トイレの準備」も必要ですが、命を落としては食料もトイレも要りません。取り組むべき最も重要な防災は「命を落とさない事」です。続いて近隣者の助け合い「家屋財産を失わない事」でしょう。